

2026年度ゼミ（演習1）要覧

担当者名	BAE JUNSUB（ベ ジュンソブ）
演習テーマ	日韓の「いま」を比較し、社会問題を解決する政策を考える
演習の内容	<p>BAEゼミでは、少子高齢化や格差、ジェンダーなど、日本と韓国が共通して抱える悩みに着目し、政府の政策やその特徴を国際比較の視点から考えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・演習1：社会の仕組みを知り、研究の基礎を固める <p>政府の「政策」について学び、なぜ社会問題の解決が難しいのかを考えます。同時に、卒論に向けた正しいリサーチ方法や論文の書き方をゼロから身につけます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・演習2：韓国社会を多角的に分析する <p>韓国の政治・経済にとどまらず、文学や映画などのコンテンツも入り口にしながら、現代韓国のリアルな課題を日本と比較・考察します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・演習3：集大成の卒業論文へ <p>ゼミでの研究活動の総決算として、国際学部における学びの独自性を活かした、質の高い卒業論文を完成させます。</p>
テキスト・参考書	<p>松田憲忠、三田妃路佳編（2025）『対立軸でみる公共政策入門〔第2版〕』法律文化社。</p> <p>伊藤修一郎（2022）『政策リサーチ入門〔増補版〕：仮説検証による問題解決の技法』東京大学出版会。</p> <p>戸田山和久（2022）『最新版論文の教室：レポートから卒論まで』NHK出版。</p>
成績評価の基準	授業への参加度 25%、プレゼンテーション 25%、期末レポート 50%
校外実習	（実施する）
校外実習を実施する場合、実習地・時期、個人負担額	<ul style="list-style-type: none"> ・実習地：韓国（ソウル、釜山、光州など） ・時期：2027年9月に1週間程度 ・個人負担額：15万円前後
選考方法	<p>個別面談を実施します。</p> <p>以下の候補の中から希望する時間帯を選び、事前にメールでご連絡の上、研究室に来てください。</p> <p>（※日程調整のため、できれば第2～3希望まで記載してください）</p> <p>【面談候補日時】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5月11日（月）：2限、昼休み、4限 ・5月12日（火）：2限、昼休み、4限、5限 ・5月18日（月）：2限、昼休み、4限 ・5月19日（火）：2限、昼休み、4限、5限 <p>場所：8421 研究室</p>
小論文 （テーマ、書式・枚数、提出期限・方法）	なし
メールアドレス	junsub@k.meijigakuin.ac.jp

<p>説明会・ オフィスアワー</p>	<p>全体での説明会は予定していませんが、ゼミに関する質問や個別の相談は研究室にて随時受け付けます。 下記の時間帯で対応可能ですので、事前にメールで希望日時をお知らせの上、気軽に研究室を訪ねてきてください。</p> <p>【対応可能日時】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5月11日（月）：2限、昼休み、4限 ・5月12日（火）：2限、昼休み、4限、5限 ・5月18日（月）：2限、昼休み、4限 ・5月19日（火）：2限、昼休み、4限、5限 <p>場所：8421 研究室</p>
<p>履修済・履修中であることが望ましい授業</p>	<p>特になし</p>
<p>2027・2028年度に在外研究等で演習を開講しない可能性</p>	<p>なし</p>
<p>認定留学期間中（演習2・3開講学期中）の遠隔指導*</p>	<p>否</p>
<p>備考</p>	

* 「遠隔指導」については、「演習1」選考に関するガイダンス資料を確認のこと。